

関係者各位

日本 ALS 協会長野県支部

支部長 小林さゆり

喀痰吸引等研修事業の実地研修における指導看護師の依頼について

日頃より当支部へのご理解、ご協力を賜り誠にありがとうございます。

当支部では、医療的ケア（吸引・胃ろう注入等）が必要な患者様に対してヘルパーが喀痰吸引等を行うことができるよう、令和 4 年度より県の指定を受けて研修事業（以下 3 号研修）を行っております。

患者様が胃ろう造設後、気管切開後、ご自宅で療養される際に、ご家族だけでなくヘルパーによる胃ろうへの注入、喀痰吸引等が行えるようになることは、患者さん・ご家族が長期に住み慣れた在宅生活を継続するために大変重要な支援と考えております。

ただ、ヘルパーは研修を受けなければ医療行為である吸引や胃ろうの注入は法的に認められていないため、入院中、あるいは退院後等、速やかに看護師さんにご指導頂き、研修を修了できるよう、ご担当の看護師様に指導看護師になっていただき、ご指導を頂ければ幸いです。

つきましては、大変お手数ですが以下の手続きをお願いできればと思います。

<指導看護師になっていただく手続きの流れ>

別紙、フローチャート図にてご確認ください。

ご不明な点等は下記へお問い合わせいただけたらと思います。

よろしくお願いいたします。

問い合わせ・書類提出先

日本 ALS 協会長野県支部 事務局 原山あかね

住所 長野市上野 1 丁目 680-2

TEL 026-263-6335

FAX 026-243-8820

携帯 090-9353-8508

E-mail: akane_harayama@tetote7107.org